

## Report - 19.87 (19.88

去る,2022年6月2日(木)~6月4日(土),大磯プリンスホテル(神奈川県大磯町)にて,第113回品質管理シンポジウム(以下,113QCS)が開催されました。今回は現地とオンライン併用によるハイブリッド開催となり,約300名(現地約170名,オンライン約130名)の方々にご参加いただきました。QCSは,1965年に日科技連が品質管理の今後の発展を希求して創設したもので,57年の歴史を誇る一大イベントです。組織的・計画的な総合研究の場として,QCS会員120社のご支援の下,年2回開催しています。

113QCSは、大阪電気通信大学名誉教授の猪原正守氏が主担当組織委員を務め、「顧客価値創造と顧客価値獲得に貢献できる現場力の育成と強化」をテーマに開催しました。

コト価値創造と価値獲得が求める現場力とは何か, その現場力を育成・強化するためには,だれが,何を, どのようにしなければならないのか,さらに,そうし た現場力を組織能力として昇華させるためには,と いった論点から討論が繰り広げられました。

初日の特別講演では、トヨタ自動車のFC事業領域のトップ 濱村芳彦氏に、トヨタが取組む水素・燃料電池技術によるカーボンニュートラル社会への貢献をご紹介いただきました。まさに「社会課題の解決」を目指し実践されている内容にトヨタの真の強さを強烈に印象付けられました。その他3日間のプログラムの中で行われた講演は表の通りです。

2日目の夕方から夜にかけて、現地参加者はグループ討論(8班)を行いました。最終日にはグループ討論の成果の発表と、その内容を基にした総合討論が行われました。各講演の内容も参考にし、熱い議論が交わされ、ニッポンの現場力のさらなる進化に向けた提言が出されました。

## \* \* \*

次回は, 2022年12月1日(木)~3日(土)の日程 で大磯プリンスホテルにて,「産業構造変革期に対応

## 113QCS 講演内容

月日	講演・座談
6/2 (木)	■特別講演 「トヨタが取組む水素・燃料電池技術によるカーボンニュートラル社会への貢献」 トヨタ自動車㈱ トヨタZEVファクトリー FC事業領域統括部長 濱村 芳彦 氏
6/3 (金)	■基調講演 「顧客価値創造に貢献できる現場力の育成と強化」大阪電気通信大学名誉教授 猪原 正守 氏 ■講演1 「富士フイルムビジネスイノベーションの事業転換に向けたDXの取組み」 富士フイルムビジネスイノベーション(株) 取締役会長 真茅 久則 氏 ■講演2 「持続的成功を目指すキャタラー流品質経営」 ~顧客価値を創造・獲得できる組織能力の育成~(株)キャタラー 代表取締役社長 砂川 博明 氏 ■講演3 「ESG視点でのよきモノづくり」 ~現場起点の顧客価値創造~花王(株) 代表取締役 社長執行役員長谷部 佳宏 氏 ■講演4 「お客様要求品質第一に徹する耀き疾走する仲間達との再生物語」 ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO兼グループCEO 小野 有理 氏

した品質経営(顧客価値創造と組織能力)の進化~DX 化された顧客プロセスと自社プロセスの両輪で進める品質経営の在り方~」をテーマに開催します。特別講演には、福岡ソフトバンクホークス 前監督 工藤公康 氏をお迎えする予定です。

QCS は新規会員を募集中ですので、ご関心のある方は QCS 担当までお気軽にお問い合わせください。

\*詳細はWebサイト(https://www.juse.jp/qcs/)を参照

[報告:安隨 正巳(日科技連・品質経営創造センター]